

だいじょうぶ。ともにあるこう。

(2011. 8. 22)

三鷹市議会議員

野村 のむら ようこ 羊子



といっしょにつくる三鷹の会 ニュース no.47

■8/8~12に福島県、宮城県を訪問。被害を実感。

◆郡山市；2400人が暮らした避難所「ピックパレットふくしま」

今は200人弱に減り、8月末で閉鎖の予定。紙管の仕切りや女性専用ルームなどのハード面から、お互い様支援のカフェなど被災者自身が支援する仕組み、モデル的な実践があれこれ。きちっとこの経験を学びたい。郡山駅前バスターミナルは0.6 μ Sv。



◆南相馬市；海岸線の町は壊滅。原町火力発電所も被災。

海岸から数キロ離れた国道脇に今も小型船が何艘も横倒しになったまま。倒壊した家々のがれきは撤去され、一見何も無い野原。実際は数百戸単位の住宅街。市の北東に位置する原町火力側の防波堤の向こうの砂浜はえぐられたまま。世界大会も開かれたサーフスポットの波は今も高い。0.12 μ Sv。；20kmの警戒区域前は、0.4 μ Sv。原発のお膝元双葉郡からのお客様で成立していた商圈。サービス業6割の町をどう再建するのか。若い世代は子どもを育てられる環境にならなければ戻れない、と。

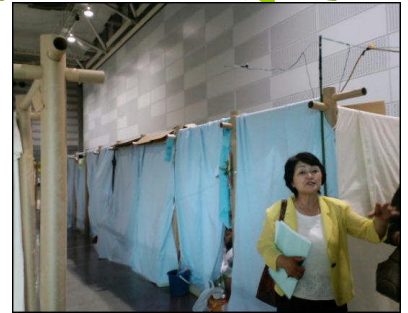


◆いわき市；海岸部の町も港も被災。アクアマリンふくしまは7月15日に何とか復旧。しかし、港が壊滅。秋のサンマ漁の水揚げをと意気込むが、岸壁だけではなく、

倉庫や加工場といったバックアップがなければ市場の再開は難しいとか。

◆石巻市・牡鹿半島；リアス式の半島の小さな漁村も全て津波にのみ込まれた。育つのに数年かかる牡蠣の養殖の仕掛けが全てダメになり、引き上げる台船代が数百万円。仕掛けを上げ下げするための10t級の船が欲しい。7月に仕掛けを降ろしたら牡蠣の卵が例年より多くついた。これが育つ数年間をどうしのぐか。家の建て直しもあるし、放射能の問題もある、。

◆石巻市・十三浜；若布・昆布・ホヤ・帆立の養殖と天然鮑漁。密漁を防ぐ等の努力が実ってきたところに被災。鮑の稚貝は震災前の9割減と聞き、肩を落とす地元漁師のまとめ役。養殖再開支援のサポーターを募集中。



◆9月議会予定

- 9月5日(月) 本会議(一般質問) 請願締切
- 6日(火) 本会議(一般質問)
- 7日(水) 本会議(議案上程)
- 12日(月) 本会議(議案・請願等審議、決算代表質疑)
- 13日(火) 常任委員会
- 14日(水) 常任委員会
- 15日(木) 常任委員会
- 16日(金) 決算審査特別委員会
- 20日(火) 決算審査特別委員会
- 21日(水) 決算審査特別委員会
- 22日(木) 決算審査特別委員会
- 26日(月) 外環道調査対策特別委員会
- 27日(火) 基地跡地対策特別委員会 請願締切
- 10月3日(月) 本会議(決算審査特別委員会審査報告、議案等審議)

☆いっしょ広場Part4☆

第4回放射線量測定会と放射線の測り方学習会

講師；箕輪はるかさん（東京慈恵会医科大学アイソトープ実験研究施設助教）

日時：9月3日（土）

放射線量測定会

13時：プーの森前集合 自転車で移動します。
下連雀地域の公園数カ所を測定して回ります。
校正した測定器をお持ちいただき、いっしょに測定しましょう。



放射線の測り方学習会

15時～16時半（学習会だけの参加も可）
三鷹市市民協働センター2F 第1会議室（黒板側）



福島県や船橋市などの放射線量を専門家として測定してこられた箕輪さんに、放射線の測定の仕方について、それぞれの機器の特徴を踏まえて、今後の暮らしにどう役立てていくのかについて、お話しいただきます。

放射線量測定器をお持ちの方は、簡易校正的な場として、ご自分の機器の特徴をつかみ、測り方を再確認の上、今後の暮らしに役立てて下さい。

お持ちではない方、これから購入を検討されている方は、放射線を測定するということを実地で体験し、今後の放射線への対応をともに考えていきましょう。



問い合わせ；issyonokai@nomura-yoko.net Tel&fax0422-72-2425

■2010年度 野村羊子の収支報告(2010年5月～2011年4月)

収入		支出	
報酬	9,207,000	税	2,304,592
審議会等報酬	100,000	社会保険料	1,750,805
旅費・日当	3,000	生命保険料	190,860
合計	9,310,000	議員互助会	24,000
		積立(審議会報酬)	97,000
		活動費	240,154
		事務費	170,104
		図書資料費	42,184
		交通費	190,325
		いっしょの会特別会	1,600,000
		ブラッシュアップ費	141,770
		生活費	2,358,206
		選挙費用へ	200,000
		合計	9,310,000
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパ	40,330		
子どもたちを放射能から守る 福島ネットワーク	50,630		
ピース・ウィンズ・ジャパン	40,330		
アトピッ子地球の子ネットワー ク	50,330		
3.11絵本プロジェクトいわて	40,330		
家族計画国際協力財団	50,330		
茨城NPOセンター・コモンズ	40,330		
せんだい・みやぎNPOセンタ	40,000		
全国女性相談研究会	10,000		
母乳調査・母子支援ネットワー ク	5,120		
	367,730		

4年間の審議会報酬積立合計367900円。三鷹市内に窓口のないNPOの東日本大震災支援活動に寄付。